

# 令和7年度 糖尿病重症化予防 登録歯科衛生士 アップデート研修

糖尿病と歯周病の関係性は高く、糖尿病の重症化を予防するために歯周病の予防、口腔管理が必要です。糖尿病重症化予防について理解を深め、歯科保健指導に従事することができる「登録歯科衛生士」の人材を育成するための研修会です。また、本年度も市町村が実施する糖尿病重症化予防等の歯科保健指導に従事可能な歯科衛生士の登録を募ります。

受講料  
無料

日時 令和7年12月14日(日)

9:30~13:30

会場 鹿児島県歯科医師会館  
(4階多目的ホール)

対象 ① 登録歯科衛生士(登録証を持っている方)  
② この事業に登録の意思のある歯科衛生士  
(※研修受講後、登録をお約束できる方に限ります)

定員 会場 80名(先着順受付) / Zoom 80名

開催方法 ハイブリッド開催

## プログラム

- 糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて 10分  
鹿児島県国民健康保険課
- モデル市町村事業について 10分  
本会担当者
- 講演1 糖尿病を改めて理解する  
:明日からの業務に役立つポイント整理 90分  
鹿児島大学大学院 糖尿病・内分泌内科学  
准教授 森野 勝太郎 先生
- 講演2 押さえておきたい!糖尿病治療薬のココ 90分  
鹿児島県薬剤師会 薬剤師 鎌田 貴志 先生

申込締切日 令和7年11月30日(日)

## 講師

森野 勝太郎 先生  
鹿児島大学大学院  
糖尿病・内分泌内科学 准教授



糖尿病と歯周病は密接に関連しており、歯周病予防は糖尿病の重症化予防において重要な位置を占めます。本研修では、歯科衛生士として知っておきたい糖尿病の基礎知識や合併症のメカニズム、歯周病との関係性、歯科診療中に意識しておきたいポイントなどをわかりやすく解説します。日々の業務の中で少しでも参考にしていただければ幸いです。

## 講師

鎌田 貴志 先生  
鹿児島県薬剤師会 薬剤師



糖尿病と歯周病との関係性がガイドライン等に明記され始めて10年以上が経過し、歯周病コントロールが糖尿病改善に寄与することは少しずつ認知されてきていると感じています。糖尿病と言えば薬物治療が不可欠ですが、近年新しい治療薬が次々と上市され、治療方針も大きく様変わりしてきました。口腔ケア・歯周病予防を行う上ではそれら薬物療法に関する基本的知識を持つことが大切ですが、治療薬や治療法の変遷は激しいため、それらを把握することは困難な面もあるのではないかと思われます。そこで今回は薬剤師の視点から、多種多様な糖尿病薬それぞれの特徴や副作用、口腔ケアに影響するであろうポイントなどを取り上げてみようと思います。みなさまが、すぐにでも現場で活用・応用できるよう、分かりやすく解説していきたいと考えています。

日本歯科衛生士会生涯研修認定 「歯周治療の基本技術」2単位取得

主催 公益社団法人鹿児島県歯科衛生士会

共催 公益社団法人鹿児島県歯科医師会

問い合わせ先



公益社団法人鹿児島県歯科衛生士会

鹿児島市照国町13-15 FAX:099-222-4030 e-mail:info@kdh8020.com

詳しくは  
裏面を  
ご覧ください